

# はばたき

■発行/秋田県大仙市教育委員会 太田公民館  
TEL0187-88-1119



この QR から「はばたき」  
バックナンバーへ

## ・巻頭言

小正月行事が各地で行われる季節です。太田でも火まつりが規模を縮小して行われます。紅蓮の炎で新型コロナウイルス感染症を退治してもらいたいものです。

## ・今月の主な活動

つるし雛展 (2/1~3/31)  
太田の火まつり (2/5)  
タミヤカップスキー大会 (2/13)  
山登り教室 (2/20)

## 山登り教室 (1/16)



前回に引き続き、春からの登山実習に向けて、コンパスを使った国土地理院地図の読図を実践し、演習問題を行いました。読図により山頂の特徴のある地形から自分の位置がわかるようになります。要するに山で迷わなくなります。

また、ロープワークを学び山での安全確保や非常事態に備える大切さを学びました。

参加者 21名 (講師 4名、職員 1名)

## 編み物講座 (1/13・19・28)



どんな作品になるのか？

冬季講座として編み物講座を開催しました。編み物は人の体も心までも温かくします。今年はベスト作りなどに挑戦しました。

編み物には糸の色あわせや編み方を変えると様々なバリエーションがあります。それをどうするのか、講師や受講生が互いに楽しく意見交換を行いながら完成を目指しています。

参加者 11名 (講師 1名)

## 料理講座（1/21・27）



太巻きに挑戦！

伝統的な食文化を伝える太田の料理講座。今冬も赤飯、伊達巻き、太巻きに挑戦しました。赤飯は時折々の人生の節目や正月・お盆に食されます。伊達巻きは会席料理の口取りや正月のおせちに、太巻きは寄合や運動会、祝儀や不祝儀などで食されました。ひと昔前までは各家庭で作られていましたが、時代が進み今では伝統的な料理となっています。

参加者 16名（講師 1名）

## 『太田町史』を読む！（全12回）

### 第11回 紅蓮の炎が天をも焦がす！



1997年 大台スキー場にて



1983年 第1回ふるさとの火祭り

今月5日（土）、第40回「太田の火まつり」が開催されます。今では太田地域を代表する小正月行事となりました。この火まつりのクライマックスは何と言っても「天筆」です。

「カマクラ」とも呼ばれる生木で作った塔にワラをしぼりつけ火をつける行事で、昔は旧暦1月15日（新暦2月中旬頃）に小正月の年取りとして各集落で行われていました。行事の内容はまずカマクラを前に火付け役とそれを防ぐ役の若者達による押し合いが行われました。次にカマクラに火が付くとその燃え上がる炎で五穀豊穡や学力向上などの願いを記した五色の短冊を長い竹や木につるして焼き、その火の粉が天に高く上がるほど願いがかなうとされました。各集落では天筆のほかには綱引きやミカン撒きが冬の楽しみとして行われていたようです。詳しくは町史1103～1104ページをご覧ください。